



本店

## プロフィール

設立	昭和 63 年 4 月 1 日 (合併)
本店所在地	安中市原市 668-6
出資金	12 億 7 千万円
代表者	理事長 五十嵐 公
預金残高	2,319 億円
貸出金残高	871 億円
役員数	173 名
店舗数	22 店舗



### 営業地区

富岡市、安中市、高崎市、  
藤岡市、前橋市、甘楽郡、  
多野郡、佐波郡玉村町

※前橋市は旧大胡町、富士見村、  
宮城村、粕川村を除く地区



当組合のシンボルマークは、群馬県信用組合のイニシャル“G”が上昇していく形です。

これは地域社会と当組合がともに発展し、成長していく姿を表しており、“G”が形づくる円形とその動きは、それを実現していくために、当組合が柔軟かつ、きめ細かに地域を応援させていただく姿勢を示しております。

## 目次

### ●はじめに

プロフィール	1
ごあいさつ	2
経営理念・長期経営計画・中期経営計画	3
群馬県信用組合 SDGs 宣言	4
事業の概況	5
決算概況	6

### ●地域を応援する取り組み

中小企業の経営の改善および 地域の活性化のための取り組み状況	7
金融サービスを通じた取り組み	13

### ●コンプライアンス等への取り組み

コンプライアンス態勢	15
リスク管理への取り組み	19

### ●各種サービスのご案内

業務のご案内	21
各種手数料のご案内	24

### ●ガバナンスの充実状況

群馬県信用組合の概要	25
組合員と総代会制度	27
店舗のご案内	29

### ●資料編

法定監査の状況	31
財務諸表	32
営業の状況	37
リスク管理債権と金融再生法に基づく開示債権の状況	43
自己資本の充実の状況	44
連結決算の状況	50
連結における自己資本の充実の状況	52

※表紙写真

(上) 碓氷第三橋梁「めがね橋」 (下) 妙義山

## ごあいさつ



前理事長  
新野 正行



新理事長  
五十嵐 公(ただし)

皆さま方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素は群馬県信用組合をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。  
さて、当組合では、令和5年6月26日の総代会ならびに理事会におきまして、理事長の新野正行が退任し、専務理事の五十嵐 公が理事長に選任され就任いたしました。  
新体制となりましたが、五十嵐理事長のもとで「創造と貢献」を経営理念に、地域の皆さまとのふれあいを大切にし、地域社会の活性化や地域の皆さまの豊かな暮らしづくりに貢献すべく業務に取り組んでまいりますので、これまで以上のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年も「けんしんようの現況2023」を作成し、当組合の経営方針や業績内容等についてご報告いたしますので、是非ご高覧いただければ幸いに存じます。

令和4年の国内経済につきましては、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある一方で、長期化するロシア・ウクライナ戦争の影響から資源国からの供給が減少し、エネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引き締めによる世界的な景気後退懸念など、国内経済を取り巻く環境は厳しいものとなりました。

金融面におきましても、日本銀行の金融緩和策が継続され金融機関の収益環境には厳しい状況が続きました。

こうした中、令和4年度は「地域の発展とお客さまの成長を第一に考えた行動」をテーマとして実践し、コロナ禍で厳しい業況にある中小・小規模事業者さまへの円滑な資金供給はもちろんのこと、地域経済の活性化につなげるために、さまざまな外部機関・外部専門家と連携を図ることで創業・起業支援や経営改善、再生支援などの分野を強化し、また、職員教育についても、自ら学び行動を起こす人財の育成に取り組んでまいりました。

令和5年4月からは、3年間にわたる「中期経営計画『クオリティ・アップ ファイナルステージ』」がスタートいたしました。「お客さまニーズにお応えするための計画的訪問体制の構築」を主要テーマとし、営業基盤、人財育成・職場環境、経営基盤の3つの基盤を強化することで、「10年後のありたい姿」として定めた当組合の経営ビジョン『お客さまのご要望に素早く適確にお応えするため、誠意と熱意とフットワークで行動する金融機関になる』を達成できるよう、役職員一同全力で邁進してまいります。

皆さま方におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月  
理事長 五十嵐 公